よくあるご質問と回答

Arcserve® UDP 9000 v2 Appliance シリーズ

1. **Arcserve UDP 9000 v2 Appliance シリーズ（以下 Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ）では標準でどの機能が使えますか？**
   Arcserve UDP Advanced Edition および Arcserve UDP Advanced Edition for Nutanix の機能が使えます。Arcserve UDP Premium Edition 以上の機能である「役割ベースの管理」や「ハードウェア スナップショット対応」などを使用するには、ソフトウェア・アップグレード オプション製品をご購入ください。

2. **仮想スタンバイやインスタント VM 機能を使用できますか？**
   はい、オプション不要で使用できます。パフォーマンスの観点で、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ とは別の仮想基盤に仮想マシンを作成することをお勧めします。

3. **Nutanix AHV 上の仮想マシンや Nutanix Files を保護できますか？**
   はい、Nutanix AHV 上の仮想マシンのエージェントレス バックアップや Nutanix AHV を利用した仮想スタンバイ/インスタント VM、Nutanix Files のスナップショットと連携したバックアップが可能です。Nutanix AHV/Nutanix Files をご利用予定である事を Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの購入時に Registration form に記入いただくか、無償アップグレード申請フォームでお知らせいただければ、必要なライセンスを提供いたします。

4. **Microsoft 365 を保護できますか？**
   いいえ、2025 年 1 月 6 日（月）以降に Arcserve が受注した Arcserve UDP Appliance では、Microsoft 365 のバックアップは行えません。

5. **テープへバックアップできますか？**
   はい、二次バックアップ先としてテープ デバイスへバックアップできます。本体購入時にオプションの増設カード（SAS/FC）を併せてご購入ください。

6. **2 ドライブ以上のテープ装置を接続できますか？**
   はい、ソフトウェア・アップグレード オプションまたは Arcserve Backup for Windows Tape Library Option を購入すれば可能です。

7. Arcserve Backup や Arcserve Replication/High Availability の機能も使えますか？また、バックアップ/レプリケーション先に制限はありますか？

ソフトウェア・アップグレード オプションで Premium Edition にアップグレードする事で Arcserve Backup の全機能と Arcserve Replication のファイルサーバシナリオを、Premium Plus Edition にアップグレードする事で Arcserve Backup と Arcserve Replication/High Availability の全機能を使用できます。

Arcserve Backup を使用するには一次バックアップ先が Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ の内蔵 HDD または直接接続されたテープ デバイスである必要があります。

Arcserve Replication/High Availability を使用するにはレプリカ サーバが Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 内の仮想マシンである必要があります。

8. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズを複数台購入します。ソフトウェア アップグレード オプションはいくつ購入すればよいですか？

機能を強化したい Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの台数分ご購入ください。

9. 復旧ポイント サーバ（RPS）間でバックアップデータをレプリケート（複製）する場合、複製先は Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ でなければいけないのでしょうか？

いいえ、同じバージョンの RPS であれば、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 以外でもバックアップデータの複製先にできます。例えば、クラウドにインストールされた RPS にバックアップデータを複製することも可能です。

10. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ にプリ インストールされている Arcserve UDP のバージョンを教えてください。

Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ にプリ インストールされている Arcserve UDP のバージョンは サポート ポータル で確認いただけます。

11. Arcserve UDP 9200 v2 と Arcserve UDP 9220 v2 の違いは何ですか？

HDD と SSD の容量が異なり、Arcserve UDP 9220 v2 の方が多くのデータをバックアップして保存できます。それぞれの容量は以下をご覧ください。両製品にこれ以外の機能の違いはありません。

Arcserve UDP 9200 v2：HDD 実効ストレージ容量 12TB、SSD 240GB
Arcserve UDP 9220 v2：HDD 実効ストレージ容量 24TB、SSD 480GB

12. Arcserve UDP 9200 v2 と Arcserve UDP 9200-6 v2 の違いは何ですか？

RAID 構成とバックアップ先として使用できるストレージの容量が異なります。Arcserve UDP 9200 v2 が 4 本の 4TB HDD で RAID5 を組んでいるのに対して、 Arcserve UDP 9200 -6 v2 は 4 本の 4TB HDD で RAID6 を組んでいます。両製品にこれ以外の機能の違いはありません。

Arcserve UDP 9220 v2 と Arcserve UDP 9220-6 v2 についても同様で、両製品間で RAID 構成とストレージ容量以外の違いはありません。

13. Arcserve UDP 9200 v2 と Arcserve UDP 9400 v2 の違いは何ですか？

Arcserve UDP 9200 v2 の筐体サイズが 1U なのに対し、Arcserve UDP 9400 v2 は 2U の筐体に 4TB HDD 12 本（RAID6）を搭載した大容量モデルです。容量を大きくするのに伴い、CPU、メモリ、SSD 等の性能を強化しています。また、2U の筐体に 8TB HDD 12 本（RAID6）を搭載した Arcserve UDP 9420 v2 もあります。

プリインストールされている Arcserve UDP の機能は Arcserve UDP 9200 v2 と Arcserve UDP 9400 v2 で同一です。

ソフトウェア アップグレード オプションと HDD/SSD 返却不要オプションは型番/価格が異なりますのでご注意ください。詳しくは価格表をご覧ください。

14. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズと従来モデルの Arcserve UDP 7000/8000/9000 シリーズとの違いは何ですか？

Arcserve UDP 9000 v2 シリーズでは、CPU、メモリ、SSD を新世代のものに刷新しています。また、オンボードのネットワーク ポートを 10Gbase-T とし、特に 7000/8000 シリーズと比べてバックアップの書き込み性能、同時ジョブの実行性能が向上しています。

ソフトウェアの構成は 7000/8000/9000 シリーズと同じですので、機能や使用方法に違いはありません。

15. ライセンス キーはどのように入手できますか？また、ライセンスの使用量に制限はありますか？

Arcserve UDP のライセンス キーは電子メールで別納されるライセンス プログラム証書に記載されます。登録方法は UDP Appliance 設置と環境設定手順をご覧ください。ライセンスの使用量に制限はなく、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ が一次バックアップ先である限り、バックアップ対象の台数/CPU 数を問わず利用できます。

16. ソフトウェア・アップグレード オプションを購入して Arcserve Backup の機能を使い直接テープにバックアップするに当たり、容量の制限はありますか？

バックアップ対象データの容量に対して制限があります。ソフトウェア・アップグレード オプションを購入すると、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズのストレージと同じ容量のキャパシティ ライセンスが発行され、その容量までのデータを保護できます。バックアップ先となるテープの容量に対する制限はありません。

17. バックアップ容量がバックアップ可能容量を超えた場合は、どうすればよいのでしょうか？

Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ を追加購入ください。2 台目以降の Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ を 1 台目の Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ の管理下に入れ、統合管理できます（※）。なお、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ自体をバックアップする場合を除き、外部のストレージを一次バックアップ先とする事はできません。

※ 旧モデルの Arcserve UDP 8000/9000 シリーズの管理下に Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ を追加する事も可能です。
※ 既設の Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ の Arcserve UDP コンソールのバージョンアップが必要になる場合があります。プリインストールされている Arcserve UDP のバージョンをご確認ください。

18. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズは Arcserve マネージド サービス プロバイダー（MSP）プログラムの対象製品ですか？

いいえ、MSP プログラムでは利用できません。Arcserve UDP 9000 v2 シリーズはバックアップ対象データの所有者であるエンドユーザーの資産として購入する必要があります。

なお、MSP プログラムではソフトウェア版の Arcserve UDP が利用できます。MSP プログラムの詳細については弊社営業までお問い合わせください。

19. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ の オペレーティング システム（OS）は何ですか？

Windows Server 2022 Standard Edition を搭載しています。

20. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ をファイル サーバやアプリケーション サーバとして兼用できますか？

いいえ、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ はバックアップ サーバ以外の用途で利用できません。

21. アンチウィルス ソフトウェアや UPS 管理ソフトウェア、サーバ監視ソフトウェアはインストールできますか？

はい、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ の OS は Windows Server ですので、インストールするソフトウェアの動作要件を確認して導入してください。

アンチウィルス ソフトウェアを導入する場合は Arcserve UDP のインストール ディレクトリやバックアップ データの保存先はスキャン対象から除外することをお勧めします。詳しくは Arcserve のサポート ポータル で確認ください。

なお、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ ではデフォルトで Windows Defender（Windows 標準のアンチウィルス機能）が有効になっています。サードパーティ製のアンチウィルス ソフトウェアと競合しないようご注意ください。

22. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズを遠隔操作する事は出来ますか？

はい、Windows Server の標準機能であるリモート デスクトップ接続や IPMI のリモート コンソール機能を使って、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズを遠隔操作できます。

23. 購入前に動作検証できますか？

Arcserve UDP のすべての機能が 30 日間無償で試せるトライアル版 をご利用ください。ソフトウェア版の Arcserve UDP と Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ は全く同じ機能を提供します。または、弊社で定期的に開催している無償ハンズオン トレーニング もご活用ください。

24. 購入後に設置場所が変わっても使用できますか？

はい、可能です。設置場所が変わった場合は、Arcserve ジャパンダイレクトにお知らせください。設置場所情報は、ハードウェアのオンサイト サポートの際に必要になります。

25. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ を SAN に接続できますか？

はい、オプションの 増設カード を購入する事で、SAN に接続できます。これにより、SAN 上にデータストアを持つ vSphere 仮想マシンを 、SAN 転送モードで高速にバックアップできます。

26. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ本体と同時に購入したオプション増設カードは、本体に取り付けられて納品されますか？それとも自分で取り付ける必要がありますか？

取り付けた状態で出荷いたしますので、お客様にて取り付ける必要はありません。

27. 本体納入後にオプションの増設カードを追加購入できますか？

購入できますが、別途設置作業費が必要になります。作業費は個別にお見積りいたしますので販売店経由でご相談ください。

28. ラックレールの可動範囲を教えてください。

同梱されるラック マウント キットは、1U モデル（Arcserve UDP 9200 v2, 9220 v2, 9200-6 v2, 9220-6 v2）と 2U モデル（Arcserve UDP 9400 v2, 9420 v2）でサイズが異なります。それぞれ以下の奥行に対応します。

1U モデル：25.59 ～ 33.46 インチ（650 ～ 850mm）
2U モデル：26.5 ～ 36.4 インチ（673.1 ～ 924.5mm）

(上記サイズはラックの外寸ではなく取付ける支柱と支柱の間である点にご注意ください。)

29. 電源ケーブルの仕様を教えてください。

定格:125V-15A、ケーブル長:1.8m、プラグ形状：NEMA 5-15P / IEC C13 のケーブルが 2 本同梱されます。なお、200V 電源を使用される場合は、お客様の方でケーブルをご用意ください。

30. RoHS 指令に対応していますか？

はい、対応しています。

31. メンテナンス（保守）の内容を教えてください。

Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ には 5 年間のメンテナンスが標準で付加されています。メンテナンスの内容は以下の通りです。

・平日 9:00～17:30 のテクニカル サポート（ハードウェアの修理はオンサイトで行います。）
・Arcserve UDP の最新バージョンへのアップグレード

32. メンテナンスはいつから始まりますか？

メンテナンスは納品日から開始されます。ただし、1 か月分のバリュー サポートを同時に購入すれば、納品日より 30 日以内先の日付をメンテナンス開始日として指定できます。

33. メンテナンス期間を 5 年より長くすることは可能でしょうか？

ご希望の時期・期間によっては対応できる場合があるので、購入前に販売店経由でご相談ください。

34. メンテナンスは更新できますか？

はい、メンテナンス用の部材確保状況等によっては更新できる場合があるため、更新をご希望の場合は販売店経由で相談ください。なお、メンテナンス期間が終了すると、テクニカル サポートへのお問合せや最新バージョンへのアップグレードができなくなります。メンテナンス終了後は最新モデルの購入をお勧めします。

35. ハードウェアのオンサイト サポートの来社時間について教えてください。

ハードウェアのオンサイト サポートにおける訪問時間は障害箇所が特定できてから 4 時間以内（※）を目標としています。また、作業は平日の 9:00-17:30 の間に実施します。障害箇所を特定した時刻や想定される 作業内容によっては翌日以降の訪問になる事があります。

※ Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの設置場所が弊社サポート拠点（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡）から 30km 圏内の場合の目標です。設置場所が弊社サポート拠点から 30km 圏外の場合は、目標時間が異なります。詳細は Arcserve ジャパンダイレクトにご確認ください。

36. 24 時間 365 日のサポート メニューはありますか？

はい、「24 時間 365 日ハードウェア サポート オプション」を購入する事で、ハードウェアの保守作業およびお問合せの受付時間帯を 24 時間 365 日に拡張できます。

※ ただし、訪問までの時間は標準のメンテナンスと同様で、障害箇所が特定できてから設置場所により 4 時間以内を目標としています。

37. 故障交換された部品はどのように扱われますか

Arcserve Appliance Support Policy に記載の通り、交換された旧部品の所有権は Arcserve に帰属し、Arcserve が持ち帰ります。ただし、データの記憶媒体であるハード ディスク ドライブ（HDD）およびソリッド ステート ドライブ（SSD）については、返却不要サービスをオプションで用意しています。

38. OS が Windows Server との事ですが、ユーザが Windows Update を自身で適用する事は許可されますか？

はい、Windows Update を適用いただいて結構です。お客様の環境に合った適切な方法で Windows Update を実施してください。Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ ではデフォルトで自動更新が有効になっています。

39. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 自体のハードウェア障害を検知する方法はありますか？

はい、IPMI および RAID コントローラ管理ツールを使用し Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 自体のハードウェアの障害を検知・通知できます。また、上記ツールを使用してハードウェア障害をメール通知する方法をまとめた手順書を公開しております。なお、Arcserve が独自に Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの状態を監視する事はありません。

40. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ自体のバックアップは可能ですか？

はい、Arcserve UDP を使ったバックアップとベアメタル復旧が可能です。Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 自体の障害に備え、バックアップは必ず取得してください。UDP Appliance 設置と環境設定手順に設定例を掲載しています。また、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 外部へのバックアップが必要ですので、バックアップ先として使用できる NAS や外付 HDD をご用意ください。

41. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズのハードウェア障害後、ベアメタル復旧作業は誰が行うのですか？

Arcserve によるハードウェア オンサイト サポートではハードウェアの交換修理までを行います。その後のベアメタル復旧作業はお客様にて実施いただきます。テクニカル サポートの詳細は、Arcserve Appliance Support Policy をご覧ください。

42. Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ には DVD ドライブが搭載されていませんが、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ 自身をベアメタル復旧（BMR） するにはどのように復旧メディアを起動するのでしょうか？

以下の 3 つの方法があります。方法 1 および方法 2 は Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ の背面にある USB ポートを使用します。

方法 1：USB メモリで作成した復旧メディア（ブート可能 BMR USB メモリ）を起動する。

方法 2：USB 接続の外付 DVD ドライブを用意し、DVD に書き込まれた復旧メディア（ブート可能 BMR ISO イメージ）を起動する。

方法 3：BMC のバーチャル メディア機能を使い、Windows 共有上に保存された復旧メディア（ブート可能 BMR ISO イメージ）を起動する。

Copyright © 2024 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved. Arcserve の許可なく、複製・配布を禁止します。Linux®は、米国およびその他の国のLinus Torvalds の登録商標です。Windows は、米国およびその他の国のMicrosoft 社の登録商標です。その他すべての商標、
商標名、ロゴはそれぞれの会社に帰属します。